

研修会報告

「トランプ政権のデジタル政策の見通し～変わったこと、変わりそうなこと、変わらないこと～」

講演者：株式会社 企(くわだて)代表取締役・慶應義塾大学大学院特任准教授・
ジョージタウン大学客員研究員 クロサカタツヤ 氏

研修担当理事：須内 康史／清水 梨江子

2025年6月26日(木)、ワシントン日本商工会は株式会社 企(くわだて)代表取締役・慶應義塾大学大学院特任准教授・ジョージタウン大学客員研究員のクロサカタツヤ氏をお招きし、「トランプ政権のデジタル政策の見通し～変わったこと、変わりそうなこと、変わらないこと～」と題するオンラインと対面のハイブリッド形式の研修会を開催しました。



講演者のクロサカタツヤ氏は、株式会社「企」の代表取締役として通信・放送・デジタル分野の経営戦略や事業開発のコンサルティングをされているほか、総務省、経済産業省等の政府委員を務めておられます。また、2024年からは、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科で教鞭をとりながら、ワシントンDC近郊に居を移し、ジョージタウン大学とバージニア工科大学でもデジタル分野の研究をされています。



今回の研修会では、米連邦議会の仕組みや大統領令の位置づけについて分かりやすく解説頂いた上で、通信・デジタル分野に関するトランプ政権の思惑と、議会共和党の意向等について、政局を交えながら丁寧にご説明頂きました。また、ワシントン日本商工会会員企業の間でも関心の高い、人工知能(AI)やサイバーセキュリティに関しても、バイデン政権とトランプ政権の政策の違いや、米国と日本及び欧州諸国との違いに触れて頂き、参加者は熱心に耳を傾けていました。クロサカタツヤ氏は、地政学や経済安全保障への造詣も深く、デジタル・通信分野を、テクノロジーの観点のみならず、米中対立や台湾有事といった日本にとって身近な事案や、ビジネスへの影響に絡めてご説明下さったことで、参加者にとって非常に

分かりやすく、興味深い講演となりました。

講演後には、活発な質疑応答・意見交換が行われ、終了後も会場に残って下さったクロサカタツヤ氏と参加者の皆様との懇談が続きました。参加者からは、「もっとお話を伺いたかった」、「非常に

興味深く、参考になった」とポジティブなコメントを多数頂戴しました。ワシントンDCと日本の双方で活躍され、ご多忙な毎日をお過ごしの中、貴重なお話をお聞かせ下さいました講演者のクロサカタツヤ氏に、改めて厚く御礼申し上げます。

商工会では今後も会員の皆様にとって有益な機会となる研修会を企画・運営して参りたいと思いますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

以上

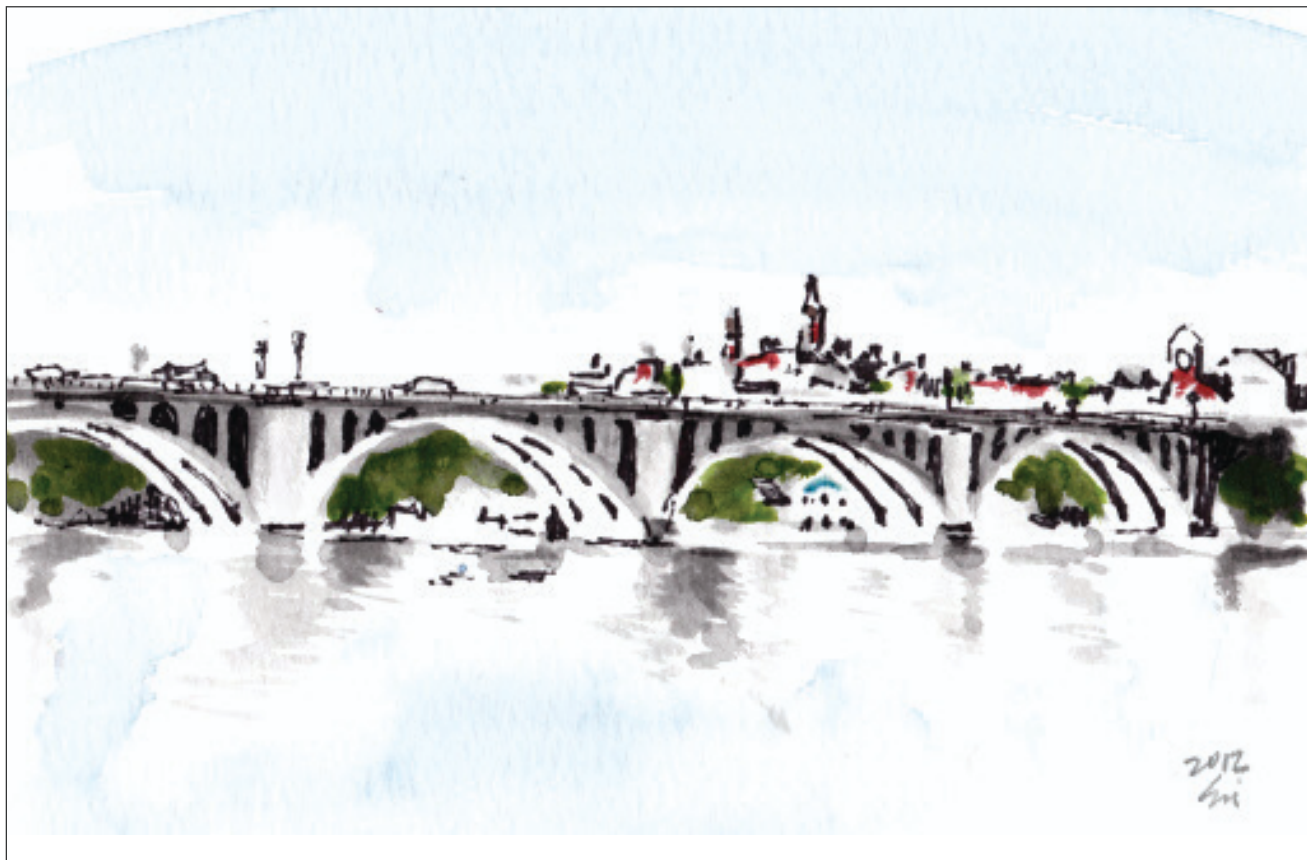


Illustration by Emi Kikuchi